

この度の『脳脊髄液減少症の治療(ブラッドパッチ)の自賠責保険適用を求める要望書』の署名活動につきましては、NPO法人鞭打ち症患者支援協会の全面的なバックアップもあり、協会員様始め、各地患者会・家族会の方々、またHPをご覧いただいた多くの方々より、賛同をいただきご協力戴きました事に 心より感謝申し上げます。

お陰様を持ちまして、2月15日 冬柴国土交通大臣へ7万2403名もの署名を協会中井代表理事に委託し、無事提出する事が出来ました。

開始当初は、2万人を目標としておりましたが、皆様患者ご自身の切実な状況と、私を気遣ってくださる温かい応援メッセージが添えられて、沢山の署名が届きました事に感激いたしました。

この署名活動をやって良かったと思うと同時に責任の重さを痛感いたし、なんとか、皆様のこのお声が大臣に届き、一刻も速く国が何等かの対応をとってくださる事を信じ、提出の日を迎えました。

冬柴国土交通大臣は、要望に対し2008年度予算における自賠責保険の研究費を計上し、前向きに検討する考えを示してくださいました。

又、16日閣議後の会見で、北海道新聞社の質問に対し「(事故との)因果関係などに学説上ある程度のコンセンサスができた段階で判断したい」と述べ、日本脳神経外科学会が今秋をめどに策定する診断・治療ガイドラインを踏まえ、対応を検討する考えを示してくださいました。

決して満足いける答えではありませんが、一歩前進として喜ぶべきところと存じます。来年度予算が計上されるまで、こんな悲惨な患者を作り続けるのか…と言う思いもありますが、日本脳神経外科学会の診断・治療ガイドラインが早く出る事を祈るばかりです。

先ずは、お礼とご報告とさせていただきます。

皆様本当に有り難うございました。そして、お疲れ様でした。

尚、私が持参し提出すべきところでしたが、まだ長距離の移動に耐え得るに至らず同席できませんでした事をお詫び申し上げます。

2007年2月18日  
脳脊髄液減少症患者支援の会  
北海道代表 石郷岡 縁